



2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 大倉工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4221 URL <https://www.okr-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 神田 進

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートセンター財務・経営管理部 長 (氏名) 木村 雅則

TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	19,504	2.3	1,199	15.5	1,365	16.9	856	3.7
2023年12月期第1四半期	19,970	8.5	1,038	24.0	1,168	23.3	826	18.2

(注)包括利益 2024年12月期第1四半期 2,063百万円 (49.0%) 2023年12月期第1四半期 1,384百万円 (104.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	70.84	
2023年12月期第1四半期	69.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	104,269	61,600	59.1
2023年12月期	100,272	60,869	60.7

(参考)自己資本 2024年12月期第1四半期 61,574百万円 2023年12月期 60,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		110.00	110.00
2024年12月期					
2024年12月期(予想)		55.00		55.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,500	3.0	2,550	5.2	2,700	0.6	1,900	17.5	157.11
通期	84,000	6.5	5,700	15.0	6,000	10.8	4,300	0.4	355.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	12,414,870 株	2023年12月期	12,414,870 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	322,078 株	2023年12月期	321,546 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	12,093,087 株	2023年12月期1Q	11,935,859 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記の業績予想に関する事項については、添付資料の2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる経済活動の影響が和らぎ、国内経済活動の正常化が進んでいるものの、原材料及びエネルギー価格の高止まりや、円安の進行などにより、おおむね横ばいで推移しました。また、先行きにつきましては、賃上げの広がりやインバウンド需要の増加が続くことへの期待感があるものの、物価上昇によるコストの増加や需要の減少などが懸念されることから、今後を見通すことが依然として困難であり、不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規材料事業において中小型用途の光学フィルムの需要が増加したものの、合成樹脂事業において販売数量が減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は195億4百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

利益面では、売上高は減少したものの、生産効率の改善やコスト削減に努めたことにより、営業利益は11億9千9百万円（前年同四半期比15.5%増）、経常利益は13億6千5百万円（前年同四半期比16.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億5千6百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

円安によるインバウンド需要は見られるものの、物価上昇の影響から食品や日用品の包装用フィルムを中心に販売数量が減少しました。また、光学・半導体用途の工業用プロセスフィルムにおいても市場は回復傾向にあるものの、前年同四半期水準には及ばず、売上高は127億6千5百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。一方、営業利益は生産効率の改善やコスト削減、不採算製品の整理などに努めたことにより、12億3千8百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

〔新規材料事業〕

車載用途ならびに中小型用途の光学フィルムの需要が増加したことに加えて、OA機器向けなどの機能材料も堅調に推移したことから、売上高は32億7千2百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。営業利益は新工場の立上に費用を要したものの、中小型向け光学フィルムの販売数量が増加したことなどにより、2億5千1百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

〔建材事業〕

基幹事業のパーティクルボード分野では、安定生産の継続ときめ細かな営業活動を展開した結果、販売数量を一定程度確保できたものの、木材加工事業において大幅に販売数量が減少したことなどにより、売上高は30億3千7百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。営業利益は売上高の減少に加えて、木材加工事業の工場移転によるコスト増加を受け、2億1千万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

〔その他〕

ホテル事業において、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたことにより、宿泊や宴会が回復したことや情報処理システム開発事業で調剤薬局向けシステムの販売が増加したことにより、その他全体の売上高は4億2千8百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。営業利益は売上高の増加などにより、1億2千万円（前年同四半期比24.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ39億9千6百万円増加し、1,042億6千9百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の増加29億3千3百万円、投資有価証券の増加16億9千7百万円、売上債権の減少10億5千7百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、借入金の増加54億2千8百万円、その他の流動負債の減少28億9千8百万円、未払金の減少21億9千4百万円、設備関係電子記録債務の増加12億9千1百万円、仕入債務の増加9億8千9百万円、賞与引当金の増加5億4千1百万円などにより、前連結会計年度末に比べ32億6千5百万円増加し、426億6千8百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金の増加11億8千5百万円、利益剰余金の減少4億7千3百万円などにより、前連結会計年度末に比べ7億3千1百万円増加し、616億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.6ポイント下落し、59.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,806	10,740
受取手形及び売掛金	21,713	20,949
電子記録債権	8,189	7,897
商品及び製品	5,292	5,256
仕掛品	1,224	1,404
原材料及び貯蔵品	4,967	5,166
販売用不動産	291	302
その他	1,461	832
流動資産合計	50,947	52,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,032	16,693
機械装置及び運搬具（純額）	8,292	11,520
土地	6,278	6,278
建設仮勘定	8,491	791
その他（純額）	522	590
有形固定資産合計	35,616	35,874
無形固定資産	888	1,058
投資その他の資産		
投資有価証券	11,291	12,989
繰延税金資産	130	158
その他	1,398	1,639
投資その他の資産合計	12,820	14,786
固定資産合計	49,325	51,719
資産合計	100,272	104,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,020	17,062
電子記録債務	672	1,619
短期借入金	1,529	5,224
1年内返済予定の長期借入金	373	616
未払金	5,382	3,188
未払法人税等	765	531
設備関係電子記録債務	1,893	3,185
賞与引当金	—	541
その他	6,437	3,539
流動負債合計	34,075	35,509
固定負債		
長期借入金	—	1,490
繰延税金負債	714	1,056
退職給付に係る負債	3,789	3,791
その他	823	820
固定負債合計	5,327	7,159
負債合計	39,403	42,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,105	9,105
利益剰余金	38,394	37,921
自己株式	△557	△558
株主資本合計	55,562	55,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,018	6,204
為替換算調整勘定	236	253
退職給付に係る調整累計額	27	28
その他の包括利益累計額合計	5,281	6,486
非支配株主持分	24	26
純資産合計	60,869	61,600
負債純資産合計	100,272	104,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	19,970	19,504
売上原価	16,499	15,763
売上総利益	3,470	3,741
販売費及び一般管理費		
販売手数料	18	22
運送費及び保管費	670	662
給料	505	531
賞与引当金繰入額	165	163
役員報酬	86	84
退職給付費用	30	35
減価償却費	49	57
研究開発費	292	351
貸倒引当金繰入額	△0	—
その他	611	632
販売費及び一般管理費合計	2,431	2,541
営業利益	1,038	1,199
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	79	80
為替差益	9	83
補助金収入	37	0
雑収入	31	26
営業外収益合計	161	198
営業外費用		
支払利息	4	4
支払手数料	23	22
雑損失	2	5
営業外費用合計	31	32
経常利益	1,168	1,365
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	21	75
工場移転関連費用	—	130
特別損失合計	21	206
税金等調整前四半期純利益	1,147	1,160
法人税、住民税及び事業税	495	497
法人税等調整額	△174	△194
法人税等合計	320	302
四半期純利益	826	857
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	826	856

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	826	857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546	1,185
為替換算調整勘定	7	18
退職給付に係る調整額	3	1
その他の包括利益合計	557	1,205
四半期包括利益	1,384	2,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,383	2,061
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,307	3,151	3,154	19,613	357	19,970	—	19,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	6	7	207	214	△214	—
計	13,308	3,151	3,161	19,620	564	20,185	△214	19,970
セグメント利益	1,087	214	223	1,526	96	1,622	△583	1,038

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、情報処理システム開発事業ならびに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△583百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,765	3,272	3,037	19,075	428	19,504	—	19,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	8	9	200	210	△210	—
計	12,765	3,272	3,046	19,085	629	19,714	△210	19,504
セグメント利益	1,238	251	210	1,700	120	1,820	△621	1,199

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、情報処理システム開発事業ならびに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△621百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△620百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。